

本 会 報

学会だより

◇ 学会誌表紙のカラー化について

今年度より日本育種学会が発行する Breeding Science 誌ならびに育種学研究誌の表紙をカラー化したしました。これは、印刷技術の向上等によりカラー印刷に必要な経費が従来に比べて削減されたことにもよりますが、何よりも「学会の顔」とも言える両誌の向上を目指して行ったことであります。この変更に関しましては、昨年の幹事会において、その趣旨をご理解いただき、承認されております。また、より読みやすい雑誌にするため、表紙のカラー化に加えて論文の体裁の変更を行いました。学会活動の更なる発展のため、新しくなった両誌への積極的な論文の投稿をお願いいたします！

集会の案内

◇ 日本学術会議公開シンポジウム「動植物育種の未来とゲノム研究」

日時：平成 17 年 6 月 11 日（土）13：00～17：30

会場：東京大学農学部 1 号館 8 番教室（東京都文京区弥生 1-1-1）

最寄り駅：地下鉄南北線「東大前」または地下鉄千代田線「根津」

講演者：

田畑哲之（かずさ DNA 研究所）「育種研究とゲノム研究の融合は可能か」

田中良和（サントリー）「フラボノイドの代謝工学—青いバラを中心に」

杉本喜憲（動物遺伝研究所）「ウシゲノム解析と DNA 育種」

嶋田透（東大農）「カイコゲノムに存在する鱗翅目昆虫特異的な遺伝子」

佐々木卓治（農業生物資源研究所）「高精度イネゲノム塩基配列情報と育種戦略」

主催：育種学研究連絡委員会

参加費：無料

問い合わせ先：吉田薫（〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科, tel: 03-5841-8086, e-mail: ayosida@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp）

なお、日本育種学会は本シンポジウムを共催いたします。

談話会だより

◇ 北海道談話会

（日本作物学会北海道談話会との共催）

例会

第 234 回（農業低温科学研究会共催）

日時：平成 16 年 11 月 8 日

会場：北海道農業研究センター

テーマ：「畑作物のゲノム科学」

演題・演者：

1. 「パンコムギの凍結耐性と低温馴化の分子機構」 宅見薫雄（神戸大農）
2. 「ダイズをタンパク質・アミノ酸生産工場として利用する」 石本政男（北農研地域基盤研究部）
3. 「テンサイの黒根病抵抗性育種と DNA マーカーの利用」 田口和憲（北農研畑作研究部）

第 235 回

日時：平成 16 年 11 月 2 日

会場：北海道大学農学部

演題：「Dynamic nature of plant mitochondrial genome」

演者：Hanna Janska（ポーランド ヴロツワフ大学生化学分子生物学研究所）

第 236 回

日時：平成 16 年 12 月 7 日

会場：北海道大学農学部

演題：「イネいもち病圃場抵抗性の解析とそのイネ育種への貢献」

演者：奥野員敏（農業生物資源研究所）

年次講演会（55 課題）

日時：平成 16 年 12 月 4 日

会場：北海道大学学術交流会館

演題・演者：主作物との混作に適したカバークロップの特性に関する研究：市山敬子・内野宙・岩間和人・実山豊・寺内方克／無農薬・無化学肥料栽培におけるカバークロップを用いた雑草抑制に関する研究：内野宙・市山敬子・岩間和人・実山豊・寺内方克／十勝地方のダイズ畑の発生雑草：石川枝津子・中野寛・竹中重仁／大豆の狭畦，コムギリビングマルチによる雑草の管理：辻博之・大下泰生・渡辺治郎・君和田健二／北海道在来品種「水口稲」の高度低温苗立性と玄米および籾色の関係：新発田修治・田中一生／水稲直播栽培における玄米収量に及ぼす苗立率の影響：横上晴郁・伊藤勇樹・松葉修一・清水博之／イネ（*Oryza sativa* L.）の温度に関する発芽性の反応規格—その育種への応用：伊藤勇樹・清水博之／イネにおける深水処理が出穂性と稔実率に及ぼす影響：清水博之・伊藤勇樹／北海道水稲主要栽培品種間における窒素反応性の差異—特に，多窒素条件下での子実収量：梶原靖久・田中一生・田中英彦・大坪耕介・岩間和人・寺

内方克／登熟気温の差異が北海道水稲品種のアミロース含量に及ぼす影響：木下雅文・佐藤毅／水稲品種「ほしのゆめ」への穂いもち圃場抵抗性遺伝子 *Pbl* の導入と耐病性および農業形質への効果：木内均・吉村徹・木下雅文・小倉玲奈・沼尾吉則・佐々木忠男・粕谷雅志・森正彦・佐藤毅／アルビノ変異体を用いたイネトランスポゾンの単離：藤野賢治・関口博史・木口忠彦／イネ *Hdl* 遺伝子における変異：関口博史・藤野賢治／イネ食味関連遺伝子 (*alk*) における分子進化的解析：小笠原光洋・佐野芳雄／イネ系統間における DNA メチル化の比較解析とマッピング：籠田あゆ美・高田美和子・佐野芳雄・貴島祐治／イネの蒴培養において暗黒およびゲランガム培地で培養することによるカルス形成率の向上：出原慧・岡本吉弘／イネ蒴を液体培地で前培養することおよび溝のついた寒天培地で培養することによるカルス形成率の向上：岡本吉弘／異なる栽培様式におけるテンサイ育成一代雑種の生育および収量特性：高橋宙之・大瀧直樹・田口和憲・岡崎和之・中司啓二／人為春化处理苗を用いた温室内における簡易テンサイ抽苔耐性検定法：大瀧直樹・田口和憲・中司啓二／テンサイ直播栽培における高能力殺虫剤添加ベレット種子の開発について (第2報)：有田共秀・鷹田秀一・高橋幹夫・中司啓二・高橋宙之／超高糖型花粉親系統を利用した簡易ペアクロス法の試み：岡崎和之・大瀧直樹・高橋宙之・田口和憲・中司啓二／テンサイ黒根病抵抗性品種の育成 第4報 高度黒根病抵抗性系統「NK-310mm-O」の遺伝的効果：田口和憲・大瀧直樹・岡崎和之・中司啓二／テンサイ稔性回復遺伝子 *R1X* 座に見出される ORF の系統間多型および細胞内局在調査：濱口祐子・松平洋明・萩原栄揮・久保友彦・三上哲夫／塊茎肥大特性がバレイショのマイクロチューバー栽培に及ぼす影響：津田昌吾・森元幸・小林晃・高田明子／根量の異なるバレイショ品種間における土壤吸水量の差異：岡田悠・堀切学・岩間和人・寺内方克・実山豊／バレイショの可溶性糖含有率における早生品種と晩生品種間の差異：鄭虚・実山豊・寺内方克・岩間和人／地域特産そば品種の特性：本田裕・六笠裕治・鈴木達郎／自殖性ソバ系統と他殖性ソバ系統の製麺関連形質の比較：六笠裕治・C.G.Campbell・鈴木達郎・本田裕／北海道における秋播き性ライムギの多収品種と低収品種の収量関連形質の比較：義平大樹・唐澤敏彦／ゼンコウジコムギの種子色変異系統の穂発芽抵抗性と休眠関連遺伝子の発現：栗原志保・氷見英子・野田和彦・入来規雄・中村信吾・川上直人／春播コムギの初冬播栽培 4. 窒素施肥が「春よ恋」の生育・収量に及ぼす影響：佐藤導謙・渡邊祐志・安積大治・寺元信幸／上川北部地域における秋まき小麦「ホクシン」の収量変動要因 (予報)：佐藤三佳子・相馬直子・渋谷幸平・藤田正平・鈴木和織／北海道におけるコムギ赤かび病抵抗性系統とマイコトキシン含量：小林聡・荒木和哉・柳沢朗／蘇麦3号及び西海165号を用いた赤かび病抵抗性秋まき小麦系統の育成：柳沢朗・小

林聡・谷藤健・吉村康弘・西村努／北海道で発生している赤さび病菌に対する有用抵抗性遺伝資源とその品質：田引正・西尾善太・伊藤美環子・池口正二郎／ハードニング時の温度および土壌水分ポテンシャルが黒色小粒菌核雪腐病抵抗性に与える影響：西尾善太・入来規雄・伊藤美環子・田引正・Murray TD／高分子量及び低分子量グルテニンサブユニットをマーカーとした超強力小麦系統の作出方法：船附稚子・高田兼則・田引正・伊藤美環子・西尾善太・船附秀行・石井現相・山内宏昭／中華めん生地の変色に及ぼす PPO 活性の影響：伊藤美環子・西尾善太・田引正／CO₂ 濃度がチベット春播きコムギ品種の生育におよぼす影響：藤村恵人・岩間和人・寺内方克・実山豊／日本のコムギ品種における根貫通力の品種間差異：久保堅司・三熊敏弥・柳沢朗・荒木和哉・渡邊好昭・実山豊・寺内方克・岩間和人／アジア・日本への普通系小麦の伝播経路の解明：中村洋／根粒着生不良条件下における窒素追肥が大豆の収量・品質に及ぼす影響：鴻坂扶美子・渡邊祐志・田中義則・寺元信幸／水田転換畑での湛水処理が北海道ダイズ4品種の乾物生産に及ぼす影響：小谷英久・岩間和人・寺内方克・実山豊／耐冷性品種「Labrador」の開花様式を有する大豆系統の育成：大西志全・黒崎英樹・湯本節三・白井滋久／ダイズにおける I 遺伝子座とカルコンシンターゼ遺伝子多型についての連鎖分析：葛西厚史・湯本節三・福田隆史・赤田辰治・石川隆二・原田竹雄・新関稔・千田峰生／ダイズとインゲンマメにおける初期葉面生長：沢田壮兵・何寧・オユンゲレル・バチオチル・安藤圭子・山口雅之／播種時期によるアズキの初期葉面生長の変動：何寧・沢田壮兵・加藤清明／トウモロコシの新旧品種において畦幅が根の分布に及ぼす影響：深山徹・梶原靖久・岩間和人・寺内方克・実山豊／上川北部地域における秋まき小麦前作に適した緑肥作物の選定：神野裕信・新橋登・宮本裕之・宮森康雄・鈴木和織／石灰質資材施用による作物生産量の変化と土壤改善：中里秀昭・鷹田秀一／生育環境の違いがシロバナスイートクローバー (*Melilotus alba*) のクマリン産生量に及ぼす影響：西千尋・秋本正博・本江昭夫／アンデス産アカザ科穀類 (*Chenopodium* spp.) の特性評価と遺伝的多様性 I. キヌア (*C. quinoa*) の品種分化とその利用：政坂了・藤倉雄二・秋本正博・本江昭夫／たまねぎ雄性不稔細胞質のミトコンドリアゲノムにみられるキメラ遺伝子の構造：山下耕一郎・萩原拓也・長谷川明彦／ペチュニアにおける花卉の模様形成に関するエピジェネティック制御機構：小関麻衣子・後藤一法・増田税・金澤章／植物ウイルスベクターを用いたトランスジーンプロモーターの転写不活性化の誘導：太田垣駿吾・洪鎮成・後藤一法・増田税・金澤章

◇ 中部地区談話会

第12回講演会

日時：平成16年12月4日

会場：名古屋大学生命農学研究科

話題提供：穂もち高度圃場抵抗性遺伝子 *Pb1* の発見と MAS 育種への応用. 藤井潔 (愛知県農総試・作物研究部)

一般講演

1. イネ短根型突然変異体 *reduced root length2-1(rrl2-1)* の乾物生産および収量形質の評価. 尾崎祐朗¹・北野英己²・大飼義明¹ (1. 名大院生命農学, 2. 名大生物機能開発利用研究センター)
2. イネの倒伏抵抗性に関わる稈形質の形態的特性解析. 篠崎祐介¹・北野英己² (1. 名大院生命農学, 2. 名大生物機能開発利用研究セ)
3. 子実用アマランサスの播種期に対する出穂反応の系統間変異. 山戸潤¹・根本和洋²・南峰夫¹・松島憲一¹ (1. 信州大院農, 2. 信州大農)
4. γ 線により得られたダツタンソバ (*Fagopyrum tataricum*) 矮性突然変異体. 高橋一平¹・南峰夫¹・松島憲一¹・根本和洋² (1. 信州大院農, 2. 信州大農)
5. *Cymbidium pumilum* の第一世代交配種が形成した非還元雌性配偶子. 富安美紀子¹・伊藤裕司¹・中島克²・小栗達也¹・加藤淳太郎¹・市橋正一¹ (1. 愛教大生物, 2. 東海市農業セ)
6. *Primula sieboldii* と *P. jesoana* の交配により得られた種間雑種の倍数性の差異. 池田真由子¹・市川創造¹・林麻衣²・加藤淳太郎¹ (1. 愛教大生物, 2. 千葉大園芸)
7. イネ棍棒状胚突然変異体の遺伝解析. 今村講平¹・佐塚隆志²・今井華子¹・松岡信²・北野英己² (1. 名大院生命農学, 2. 名大生物機能開発利用研究セ)
8. 米の品種識別に利用する DNA 簡易抽出法. 黒柳悟¹・水上優子¹・尾崎文彦²・大矢俊夫¹ (1. 愛知県農総試, 2. 愛知県農業大学校)
9. DNA マーカーによるもち米の品種識別. 尾崎文彦¹・黒柳悟²・水上優子²・大矢俊夫² (1. 愛知県農業大学校, 2. 愛知県農総試)
10. オオムギ野生種における S 遺伝子型特異的雌ざいたンパク質の探索と解析. 花井陽介¹・木浦正和¹・神山康夫¹・掛田克行 (三重大生物資源)
11. 他殖性作物におけるトレーサビリティ付与のための SSR マーカーによる品種標識法の提案およびネギにおける実証. 塚崎光¹・福岡浩之¹・北浦健生²・河田隆弘²・北宜裕²・泉田敦³・鈴木隆夫³・山下謙一郎¹・若生忠幸¹・小島昭夫¹ (1. 農研機構野菜茶研, 2. 神奈川農総研, 3. サカタのタネ)
12. 短葉性ネギ系統の育成. 若生忠幸¹・小島昭夫¹・塚崎光¹・山下謙一郎 (農研機構野菜茶研)
13. アサガオへの新規蛍光タンパク質遺伝子の導入. 石田朗¹・大石一史¹・福田至朗¹・大矢俊夫¹・伊藤夢子²・唐澤智司³・飯田滋⁴・星野敦⁴・古川和彦⁴・宮脇敦史⁵ (1. 愛知県農総試, 2. 福花園, 3. アマルガム, 4. 基生研, 5. 理研)

14. カーネーション萎ちょう細菌病菌の植物体内での増殖. 栗本哲尚¹・大石一史²・大矢俊夫² (1. 愛知県農業大学校, 2. 愛知県農総試)

15. Effect of plant growth regulators on multiple shoot regeneration of bottle gourd (*Lagenaria Siceraria*). Saha shyamali・服部一三 (名大院生命農学)

◇ 四国育種談話会

シンポジウム

テーマ：「水稲生育期間の高温による米の品質への影響について」

日時：平成 16 年 11 月 25 日

会場：高知県農業技術センター

話題提供：

1. 徳島県における現状と取り組み 藪内和男 (徳島県立農林水産総合技術センター)
2. 香川県における現状と取り組み 森芳文 (香川県農業試験場)
3. 愛媛県における現状と取り組み 木村浩 (愛媛県農業試験場)
4. 高知県における現状と取り組み 坂田雅正 (高知県農業技術センター)
5. 水稲の白未熟粒発生の品種間差について—高温登熟性検定法— 高田聖 (高知県農業技術センター)

本シンポジウムは作物学会四国支部会との共催で行われた。

第 69 回講演会

日時：平成 16 年 11 月 26 日

会場：高知県農業技術センター

演題・演者：高知県における水稲品種育成の現状と今後の課題：亀島雅史／シコクカッコソウの花色素の自生地・由来ごとの特徴について：片岡尚美・大橋広明／アメリカでのナーサリー研修報告—ナーサリーの仕事とパテント品種について：山田祥子・清水若奈・三好雅子／DNA マーカーから見た日本の茶の起源について(レビュー)：山口聡／イネミュータントパネルから選抜した根突然変異体の遺伝解析：湯尾崇央・王華・岩尾純子・Debi B.R.・武田真・一井眞比古／ツクネイモの変異と遺伝：玉置学・浅海英記／サトイモ有望系統「愛媛農試 V2 号」：浅海英記・玉置学／シンテッポウユリを子房親にした遠縁交配の交雑親和性：栗坂信之／細胞質雄性不稔 (CMS) *Brassica juncea* による A,B,C, ゲノム種の細胞質置換：常彩寿・柿原文香・加藤正弘

日本育種学会会員異動 (2004.10.21 ~ 2005.1.20)

- ◇ 普通会員入会：青木隆，川端習太郎（北海道），中島寛茂（茨城），森岡徹文（山口），小八重雅裕（宮崎），Xueqin He（沖縄）
- ◇ 団体会員入会：種苗管理センター北海道中央農場（北海道）
- ◇ 外国会員入会：Jae Bok Yoon（大韓民国）

住所変更等

- ◇ 普通会員：天野洋一，入来規雄，京谷英壽（北海道），佐藤耕，庭田英子（青森），笹原健夫（宮城），乙部（桐渕）千雅子，蒲生卓磨，近藤禎二，田口文緒，福田善通，

- 八城和敏（茨城），藤本光宏（栃木），矢ヶ崎健治（埼玉），内藤忠雄（東京），猪熊千恵，横尾政雄（神奈川），浦島修（富山），富田桂（福井），浅井辰夫（静岡），池田浩輔，杉浦和彦，杉浦豊作，前田英三（愛知），小島昭夫（三重），蔭山節雄，山根京子（滋賀），乾秀之，保坂和良（兵庫），富田因則（鳥取），土屋隆生（広島），金子和彦，古富史朗（山口），亀島雅史，長野美緒（高知），川上光男，出花幸之介（沖縄）
- ◇ 学生会員：葛西厚史（青森），高木恭子（愛知），松井和幸（和歌山）
- ◇ 外国会員：Jae Kwon Ko，李孝淵（大韓民国），Nobuya Kobayashi（PHILIPPINES）